

和歌山県の 子どもたちの状況

調査概要

調査日 平成20年4月22日(火) 対象 小学校6年生
 調査内容 ① 教科に関する調査(国語、算数) A:主として「知識」に関する問題 B:主として「活用」に関する問題
 ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

国語，算数の状況

和歌山県(公立)の平均正答率と全国(公立)の平均正答率との比較

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	算数 A (知識)	算数 B (活用)
和歌山県	64.3	47.4	72.7	48.9
全国	65.4	50.5	72.2	51.6
差	-1.1	-3.1	+0.5	-2.7

国語、「活用」に関する問題に課題があります。

算数Aにおいて、全国の平均正答率を0.5%上回っていますが、他では下回っています。算数に比べて国語において、「知識」に関する問題に比べて「活用」に関する問題において、それぞれの平均正答率が、全国の平均正答率に比べて低い傾向にあります。

学力向上に関して・・・

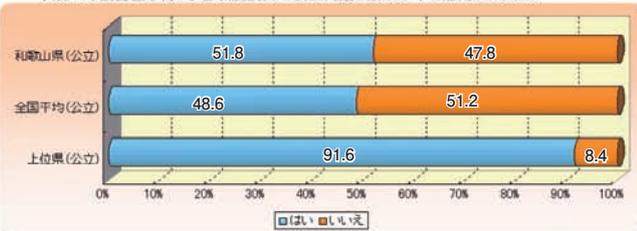
学校質問紙と児童質問紙調査の結果からみえることは

★学校では

平成19年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか



平成19年度全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか

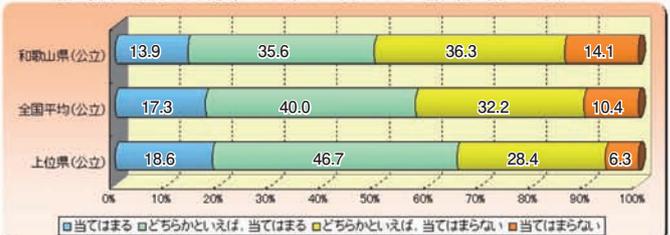


多くの学校で、調査結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しています。また、約半数の学校で、前年度の調査問題を授業の中で活用しています。

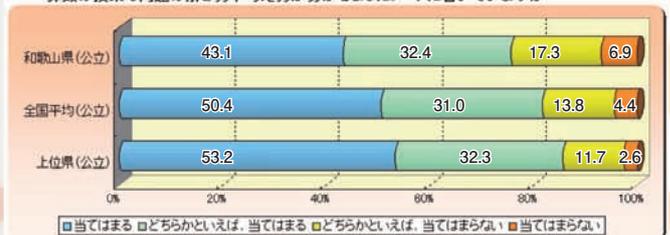
学校質問紙は97項目、児童質問紙は75項目の質問事項があります。和歌山県全体の詳しい結果は <http://www.nier.go.jp/08chousakekka/index.htm> をご覧ください。

★児童たちは

国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか



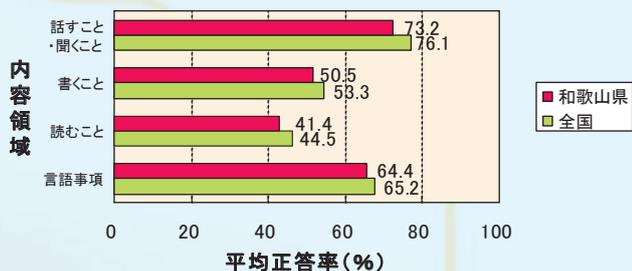
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように工夫する意識や、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く意識が、全国と比べてやや低い傾向にあります。

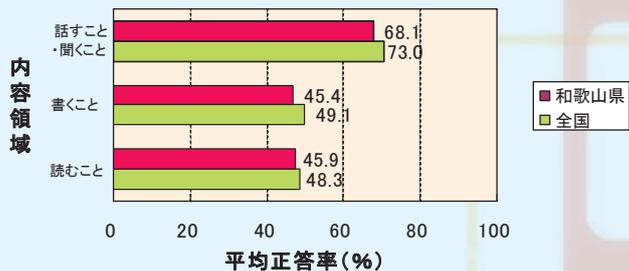
平成20年度全国学力・学習状況調査

国語A(知識に関する問題)



平成20年度全国学力・学習状況調査

国語B(活用に関する問題)



概ね良好です！

○全国学力・学習状況調査から

- ・漢字を正しく読んだり書いたりする。
- ・文脈の中で、同訓異義の漢字を使い分ける。

○和歌山県学力診断テストから

- ・漢字を正しく読んだり書いたりする。
- ・4年生：話の中心に気をつけて聞く。
- ・5年生：読み取ったことをもとに自分の考えを書くことが改善。

課題があります！

○全国学力・学習状況調査と和歌山県学力診断テストから

- ・文章やグラフ、イラストなどさまざまな資料から必要な情報を取り出し、条件に合わせて書く。
- ・制限字数内で、分かったことや自分の考えを書く。

○和歌山県学力診断テストから

- ・物語や説明文の内容を正しく読み取る。
- ・説明文で段落の関係を考える。

平成20年度全国学力・学習状況調査「国語Bの問題から

梅山市内の小学生のみさんへ
図書館だより★5・6月号

梅山市立図書館

梅山市立図書館は、みなさんが利用しやすいように工夫しています。どうぞご利用してください。

開館時間 ○火曜日から金曜日 午前9時から午後5時まで ○土曜日・日曜日 午前9時から午後5時まで ※休日は、毎週月曜日	読書相談日 1・2年生→火曜日 3・4年生→水曜日 5・6年生→金曜日 ※図書館員が、決められた曜日の開館時間内に相談いたします。
--	--

◆読書情報◆あなたは、どのくらいの時間、本を読んでいますか？
[家や図書館での1日の読書時間] (平成19年度調査)

(時 間)	(%)
全くしない	10
1分～29分	25
30分～59分	35
1時間以上	25

(全国の6年生約110万人を対象にした。土曜日・日曜日は除く。マンガや雑誌はふくまない。)

★5月・6月の図書館行事★

【人形劇】 「アリスの白い馬」 ・5月29日(水) ・15:30～16:00	どなたでも参加できます	【読み聞かせ】 「からすたろう」 ・6月15日(日) ・14:30～15:00
---	-------------	--

3 図書館委員の木村さんたちは、学校のみんなが自分たちの町の図書館をもっと利用できるように、なりたいと考えています。次は、木村さんたちの町にある梅山市立図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

子どもが言葉と向き合う 時間を作りましょう

学校では

書く習慣を
付ける
授業を！



すべての教科等で国語力の向上に取り組みましょう。自分の考えを「書く機会」を増やし、交流させましょう。

家庭では

会話と
読書を！

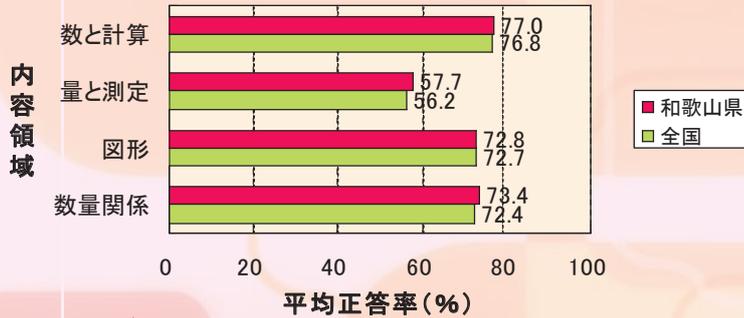


子どもの生活について会話したり、読書の感想を交流したりといった言葉のキャッチボールを楽しむ時間を多く持ちましょう。

算数

平成20年度全国学力・学習状況調査

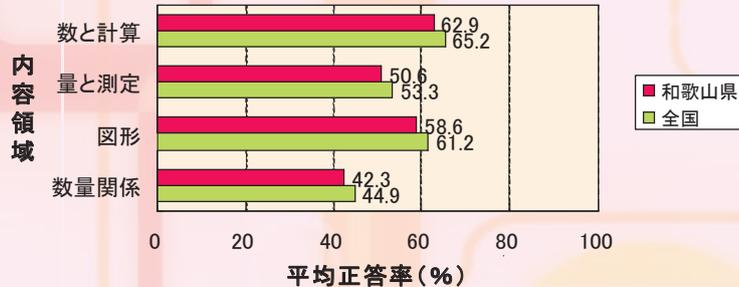
算数A(知識に関する問題)



すべての領域で全国平均正答率を上回っています。

平成20年度全国学力・学習状況調査

算数B(活用に関する問題)



すべての領域で全国平均正答率を下回っています。

概ね良好です！

- 全国学力・学習状況調査から
 - ・整数のひき算やかけ算。
 - ・小数の表し方や分数を小数で表すなどの分数と小数の関係。
- 和歌山県学力診断テストから
 - ・小数を数直線上に表すなどの小数の仕組み。

課題があります！

- 全国学力・学習状況調査から
 - ・面積についての感覚を身に付けること。
 - ・グラフから情報を読み取り、言葉や式を使って説明すること。
- 和歌山県学力診断テストから
 - ・文章や図、表などから情報を読み取り、言葉や式を使って説明すること。

平成20年度和歌山県学力診断テスト 第4学年算数の問題から

あなたも、 $23 \div 5$ の式から、商とあまりがもとめられる問題を、書き出しに続けて、の中に書きなさい。

23mのリボンがあります。

このリボンを5mずつ同じ長さにわけると、

(正答例) 何本できて、何mあまりですか。

正答率が26.8%でした。
具体的にイメージして文章に書き表すことに課題があるといえます。

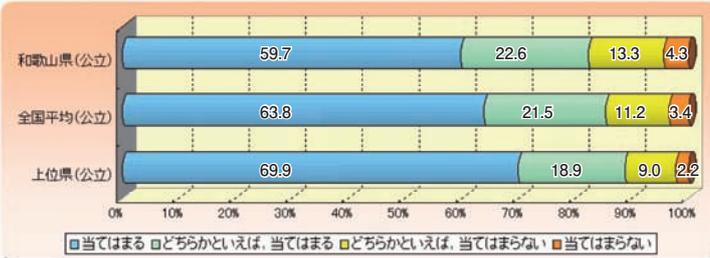
子どもたちの生活の中で算数が生かされていますか？

算数科では、知識・技能の習得とともに、習得した知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力を身に付けることが求められています。教室で学んだことが実生活の中で生かされていることを実感できるような場面が必要です。

例えば・・・買い物のおよその金額は？ 家から学校までの道のりは？
遠足で乗ったバスの平均の速さは？

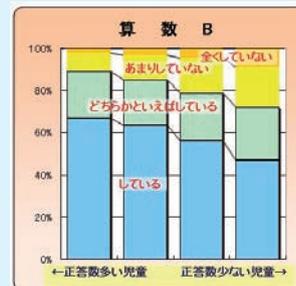
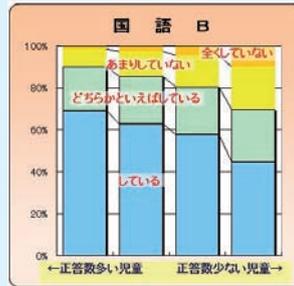
見えてきませんか？「学力」と「生活」の深い関係！

学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか



全国平均と比べると、「している」と回答している児童が少ない傾向にあります。

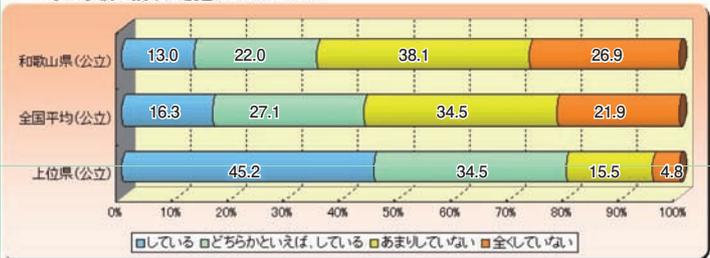
この項目の他に、朝食をきちんと食べることや、早寝早起きの習慣など、生活習慣を整えることが、学力と深く関係していることが確かめられています。



学力調査結果との関連では、すべての教科において正答数が多い児童ほど、「している」と回答している割合が高くなっています。

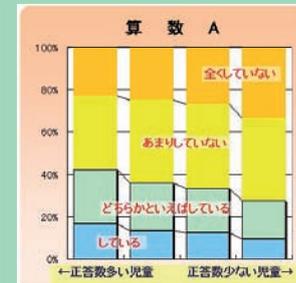
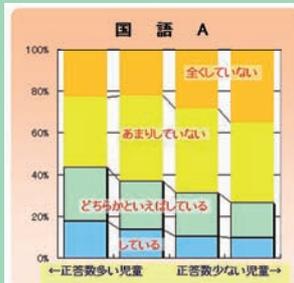
より良い生活習慣の確立を！

家で学校の授業の復習をしていますか



全国平均と比べると、家で学校の宿題はよくしていますが、授業の復習を「している」と回答している児童が少ない傾向にあります。

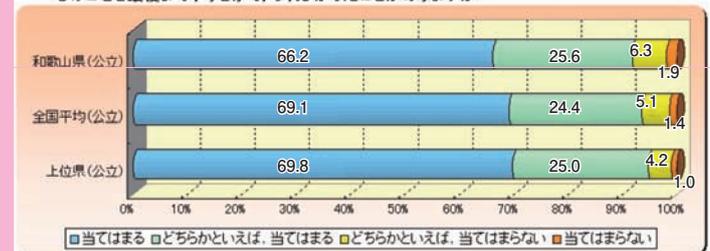
また、学校の授業時間以外の勉強時間は、全国平均よりやや長い傾向にあります。読書時間はやや短く、テレビを見たりゲームをしたりする時間がやや長い傾向にあります。



学力調査結果との関連では、すべての教科において正答数が多い児童ほど、授業の復習を「している」または「どちらかといえばしている」と回答している割合が高くなっています。

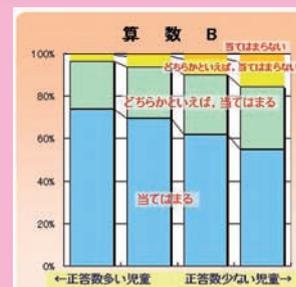
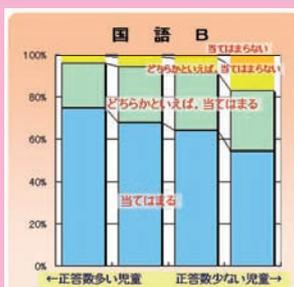
学習習慣を見直しましょう！

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか



全国平均と比べると、「当てはまる」と回答している生徒がやや少ない傾向にあります。

この他に、人の気持ちが分かること、困っている人を進んで助けることなど、他者を大切にすることを育むことも重要です。



学力調査結果との関連では、すべての教科において正答数が多い児童ほど、「当てはまる」と回答している割合が高くなっています。

自分と他者を大切にすることを育てましょう！

今回の調査結果で測定できるのは、学校や生活のほんの一部です。ここにあげた事例が、どの子どもにも当てはまるとは限りません。しかし、子どもたちの学力の向上を図り、生活習慣をよりよくしていくための大切な手がかりがありそうです。なお、全国と和歌山県の詳しい調査結果をご覧ください。http://www.nier.go.jp/08chousakekka/index.htm